

令和3年度

中学校

新しい保健体育

# 指導書のご案内



## ● 教師用指導書一覧

書名	本体価格(税別)
新しい保健体育 教師用指導書 セット ・ 指導編 (朱書編) ・ 研究編 全3冊 (1年, 2年, 3年) ・ 研究編付属 DVD-ROM ・ 指導者用デジタルブック DVD-ROM <b>NEW!</b> (インストラ有り版 無し版)	 32,000 円
新しい保健体育 教師用指導書 指導編 (朱書編) 単品	 6,500 円
新しい保健体育 教師用指導書 指導編 (朱書編) デジタル版 (1ライセンス) <b>NEW!</b>	 5,200 円

## ● 内 容

### ■ 指導編(朱書編) 全1冊



- ・ AB判/4色刷
- ・ 教科書と同じ判型で、教科書縮小紙面に丁寧な解説を加えています。
- ・ 1時間ごとに、「指導展開」「板書例」「評価」「資料の解説」などを示しています。
- ・ 教科書内の「見つける」「活用する」などの活動の解答例や生徒の発言例を朱書きで掲載しています。



### ■ 指導編(朱書編) デジタル版 (1ライセンス)



**NEW!**

- ・ 指導編(朱書編)の内容を、お持ちの端末でご覧いただけます。

# 研究編 全3冊(1年, 2年, 3年)



・ B5判/1色刷

・ 指導を支援する年間指導計画例, 関連資料, 評価問題例, ワークシートなどを掲載します。

6 自然災害による被害の防止 教科書 p.74-75

【6-3】**6-3 自然災害による被害の防止**

自然災害による被害が災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じることがある。その防止には、日頃から災害時の安全の確保に留意しておくこと、地震などが発生したときや発生した後、周囲の状況を確認し、冷静・迅速・安全に行動すること、事前の情報やテレビ、ラジオ等による災害情報を把握する必要があることを理解できるようにする。

学習内容と活動	教師の支援, その他	評価の指標例	評価の方法
1 『学習の目標』本時の学習を見直しを行う。		災害発生時や発生後	事後評価(事後評価)
2 『考えてみよう』自分の家や学校、地域では、地震などの自然災害に対して、どのような備えをしているか、発表し合う。	各家庭によってさまざまなので、コンテストのように発表を奨励することにならないようにする。 発言は、全て肯定的に受け止め、否定的な取り上げ方をしない。		
3 資料1等をもち、地震が発生したときの行動について調べ、整理する。	地域の防災マップ等を参考にしてもよい。		
4 『考えてみよう』学習したことを活用し、絵のような場面での地震の動きとなる、どのような行動をとればよいかを考え、発表し合う。	絵の中では、授業の「地震」のときに起こる振動、落下という観点から考えさせる。 海津では、津波の危険を説くため、すでに高いところに避難することが前提であることを確認する。	【授業・理解】 ◆活動4『考えてみよう』の場面について、学習したことを活用して発表、説明している。 ④で示した場面を複数枚で授業の場面を考え、説明している。	教師の観察、ノート等の記入状況 (発言状況の録音、ワークシートや学習ノート等の確認)
5 資料2, 3等をもとに、災害時の情報伝達の方法を確認し、情報伝達の方法について調べ、整理する。	地域の防災マップ、家族間の情報伝達の方法を確認しておくことが大切であることに留意する。	【知識・理解】 ◆自然災害の二次災害による被害を防止するには、災害時の危険を予測し、それに基づいて必要なことを確認し、行ったり着いたりしている。 防災訓練を受けて、行ったり着いたりしている。	ノート等の記入状況 ワークシートや授業資料 (ワークシートや学習ノート等の確認、ワークシートの提出)
6 本時の学習をノート等にまとめる。			

※評価の観点①の丸数字(①、②、③)は、p.69「評価規程表の例」の丸数字に対応しています。

研究編3巻 各単元の指導計画例 79

6 自然災害による被害の防止 教科書 p.74-75

【6-3】**6-3 自然災害による被害の防止**

1 保護科教育での防災教育の意義

地震、台風など自然災害の発生は、人命を奪う危険を伴い、心の傷を負わせることとなる。学校教育の重要な目標であること、学校教育の重要な目標であること、現在の我が国の安全を高める状況を見ると、学校、家庭、そして地域社会において、さまざまな自然災害や内閣を形成する必要がある。また、自然災害や内閣の発生などの深刻な自然災害も多発していることなどから、地域や学校、子どもの安全・安心を守るための安全教育の充実が、学校教育にとっても重要な課題となっている。

2 緊急地震速報とは

緊急地震速報とは、地震の発生直前に、震源に近い地域にだけ地震計で観測された地震の情報を解析して、震源や震度の情報(マニフェスト)を直ちに発信し、これに基づいて各地での主要動(S波)の到達時刻や震度を予測し、可能な限り速く知らせる地震計の予測及び情報のことである。緊急地震速報により、大規模な被害が予測される前に地震の発生を知ることにより、冷静な行動や安全を確保するための避難行動が可能になるという利点がある。

3 緊急地震速報の仕組み

大規模な地震が発生すると、震源地からの地震波が伝わり、回線が大変速く、つながりやすくなる。通信会社では、こうした通信の遅延の部分を減らすため、地震発生と同時にその伝送の遅延を減らすための通信手段を準備している。また、地震発生と同時に、震源地からの地震波が伝わり、回線が大変速く、つながりやすくなる。通信会社では、こうした通信の遅延の部分を減らすため、地震発生と同時にその伝送の遅延を減らすための通信手段を準備している。

④-図1 緊急地震速報の仕組み(仮定)

研究編3巻 資料 95

6 自然災害による被害の防止

学習内容と活動	教師の支援, その他	評価の指標例	評価の方法
1 『学習の目標』本時の学習を見直しを行う。		災害発生時や発生後	事後評価(事後評価)
2 『考えてみよう』自分の家や学校、地域では、地震などの自然災害に対して、どのような備えをしているか、発表し合う。	各家庭によってさまざまなので、コンテストのように発表を奨励することにならないようにする。 発言は、全て肯定的に受け止め、否定的な取り上げ方をしない。		
3 資料1等をもち、地震が発生したときの行動について調べ、整理する。	地域の防災マップ等を参考にしてもよい。		
4 『考えてみよう』学習したことを活用し、絵のような場面での地震の動きとなる、どのような行動をとればよいかを考え、発表し合う。	絵の中では、授業の「地震」のときに起こる振動、落下という観点から考えさせる。 海津では、津波の危険を説くため、すでに高いところに避難することが前提であることを確認する。	【授業・理解】 ◆活動4『考えてみよう』の場面について、学習したことを活用して発表、説明している。 ④で示した場面を複数枚で授業の場面を考え、説明している。	教師の観察、ノート等の記入状況 (発言状況の録音、ワークシートや学習ノート等の確認)
5 資料2, 3等をもとに、災害時の情報伝達の方法を確認し、情報伝達の方法について調べ、整理する。	地域の防災マップ、家族間の情報伝達の方法を確認しておくことが大切であることに留意する。	【知識・理解】 ◆自然災害の二次災害による被害を防止するには、災害時の危険を予測し、それに基づいて必要なことを確認し、行ったり着いたりしている。 防災訓練を受けて、行ったり着いたりしている。	ノート等の記入状況 ワークシートや授業資料 (ワークシートや学習ノート等の確認、ワークシートの提出)
6 本時の学習をノート等にまとめる。			

※上の例は、平成28年度発行の研究編紙面です。

# 研究編付属DVD-ROM

・ 研究編付属DVD-ROM収録予定内容

- ①年間指導計画例
- ②各章の指導計画例
- ③ワークシート
- ④評価問題
- ⑤Dマークコンテンツ
- ⑥教科書本文テキストデータ
- ⑦教科書図版データ
- ⑧教科書紙面の総ルビ・分かち書きデータ
- ⑨授業用プレゼンテーションデータ
- ⑩体育実技関連動画 など

外国人生徒や帰国生徒など、日本語の読みが苦手な生徒への対応としても有効です。

授業の流れに沿って、発問や資料、解答例などを提示できます。

# 指導者用デジタルブック(DVD-ROM) NEW!

・ 電子黒板などを使用して、教科書紙面と、それに関連するコンテンツを提示することができます。多様なコンテンツを収録しており、教科書紙面上のアイコンをクリックするだけの簡単な操作でご利用いただけます。

教科書紙面上のDマークをクリックすると、コンテンツが表示されます。

拡大・縮小



※これらの商品は企画中のため、内容、仕様ともに予告なく変更になる場合があります。